

事業計画の経緯

と き	内 容
平成 25 年 11 月	<p>各種団体代表者、公募委員等 10 名の市民で構成する「行財政改革推進市民会議」から「公共施設の在り方に関する意見」を受ける。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【意見の内容】</p> <p>石動コミュニティセンター、勤労青少年ホームは廃止 これら施設の機能の一部を総合会館(市民会館)に集約 現在の総合会館(市民会館)を改築または改修 (理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化等による維持管理費の増嵩 ・耐震化工事による財政負担の増 ・近接する各施設において類似事業を実施 ・一施設への集約化により、効率的な運営が可能
平成 25 年 11 月	<p>「公共施設の在り方検討に関する最終報告書」を策定</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【報告書の内容】</p> <p>3 施設を再編統合 (整理すべき課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重複する機能の整理 ・石動地区の公民館としての機能の維持 ・総合会館(市民会館)の耐震補強による改修経費と全面改築経費との比較 ・集約化後の廃止した施設の在り方
平成 26 年 3 月	<p>「第 6 次小矢部市総合計画(後期実施計画)」を策定</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【計画内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民図書館を駅周辺に移転新築 ・既存 3 施設の機能を集約化した施設(仮称)石動コミュニティプラザ)を現市民会館敷地内に建設
平成 27 年 6 月	<p>「公共施設白書」を策定</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適正な公共施設の量と機能の見直し ・適切で計画的な改修や維持管理の効率化を図り、施設の長寿命化につながる取り組みの推進

平成 28 年 12 月	<p>各種団体代表者等 6 名で構成する「外部評価委員会」から「意見書」を受ける。</p> <hr/> <p>【意見の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動サポートセンターを含めた 4 施設の機能を有するコミュニティ施設の整備計画とすること。
平成 29 年 3 月	<p>「公共施設等総合管理計画」を策定</p> <hr/> <p>【計画の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厳しい財政状況や今後も人口減少等が見込まれる中で、中長期的な視点をもって、財政負担の軽減及び平準化を図る。 ・平成 57 年度までの 30 年間に於いて、公共施設の統廃合により施設の総量縮減の目標を 20% 以上とする。 ・市民活動サポートセンターを、新施設への機能の集約・複合化を進める。